

ろう者と聴者が共につくる人形劇団

デフ・パペットシアター・ひとみ第14回全国公演作品

河の童

かわのわっぱ

にんぎょうげき
人形劇

原作

火野葦平
「河童曼陀羅」
国書刊行会

脚本・演出

立山ひろみ

この世界は、
あなたにはどう見えていますか？



ろう者と聴者が共につくる

デフ・パペットシアター・ひとみ

DEAF PUPPET THEATER HITOMI

■原作 火野葦平「河童曼陀羅」

■スタッフ 脚本・演出 立山ひろみ / 人形美術 本川東洋子 / 舞台美術・衣装デザイン 大島広子 / 作曲 佐藤望 / 振付 向雲太郎 / 照明 後藤義夫((有)ステージ・アイ) / 舞台監督 榎本トオル

■後援 (一財)全日本ろうあ連盟 / NPO法人日本ウニマ(国際人形劇連盟日本センター)

■企画制作 (公財)現代人形劇センター

河童の童

あらすじ

河童は、のんびり、平和にくらしています。井戸は自分の井戸で、鯉やゲンゴロウ、蟹なんかと一緒に、ゆったりゆらゆら。水はキラキラ輝いて、世界は、そこにすべてがあります。足りないものなんてどこにもなくて。にんげんに会って、攻撃されたりするので、なるべく会わないようにしています。でもにんげんの小さいの、こどもと遊ぶのは大好きなので、たまに相手をしてやります。村に雨が降らなくなったある時、突然にんげんたちは、それを河童のたたりだと考えて…。河童とこどもたち、そしてある少女との交流、おとなになったにんげん達と河童をめぐる物語。

河の童

河童といえば、日本人にとっても親しみのある「あやかし」ではないでしょうか。ときには、川に馬や人間をひきずりこむといういたずらな存在として、また、ときには、畏れ敬われる、神様のようにも描かれています。地域によってもさまざまな伝説や言い伝えとして、受け継がれてきました。

今回デフパペットでは、河童と人間のすれ違いや、河童にとっての大切な世界を丁寧に描いて、異なる世界に生きている河童と人間に焦点をあて「共にいきるとは」その本質に迫ります。「デフ・パペットシアター・ひとみ」だからこそ出来る表現の可能性に迫りました。ぜひご期待ください。



出演 デフ・パペットシアター・ひとみ

デフ・パペットシアター・ひとみはろう者 (deaf) と聴者が共に創作～公演活動を行う人形劇団です。

「ひょっこりひょうたん島」でおなじみの人形劇団ひとみ座を母体に1980年に結成しました。

「すべての人に人形劇を」のコンセプトのもと、年齢や性別、母語、宗教の違いや身体のハンディを超えて、すべての人が共に楽しめる人形劇の創作、公演活動を続けています。



photo 古屋均

■開演日時：平成30年12月22日（土）13：30開場／14：00開演

■場 所：名古屋市中川文化小劇場
名古屋市中川区吉良町178-3
（あおなみ線荒子駅 徒歩1分）
TEL：052-369-1845

■料 金：大人 2000円 子ども（中学生以下） 1000円
※当日券500円増 ※3歳以下無料
【全席自由】

■主 催 （公財）現代人形劇センター

■共 催 公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [中川文化小劇場]

■協 力 人形劇団パン、一般社団法人 日本ダイバーシティ推進協会



駐車台数 85台（駐車場は図書館と共用です。）
料金（1日1回）は、普通自動車 300円

連絡・お問い合わせ先

デフ・パペットシアター・ひとみ 担当：大里
TEL：044-777-2228 / FAX：044-777-3570
E-mail：o.deafpuppet@gmail.com



ろう者と聴者が共につくる

デフ・パペットシアター・ひとみ
DEAF PUPPET THEATER HITOMI

公益財団法人 現代人形劇センター／デフ・パペットシアター・ひとみ

TEL:044-777-2228 FAX:044-777-3570

E-mail: deaf@puppet.or.jp URL: http://deaf.puppet.or.jp/

Twitter:@DEAF_PUPPET Facebook: デフ・パペットシアター・ひとみ